

〔日本家族看護学会 国際交流委員会活動報告〕

国際家族看護学会の創設とその活動

国際家族看護学会理事, 日本家族看護学会理事 (国際交流委員会委員長)

法橋 尚宏

待望の国際家族看護学会 (International Family Nursing Association: IFNA) が, 2009年に創設された。日本の家族看護学は, 国際交流が盛んであるが, さらに日本家族看護学会と国際家族看護学会の連携・協働を模索し, 世界的視野に立って家族看護学の発展に寄与することが望まれるであろう。なお, 国際家族看護学会の最新情報は, 学会のWebサイト (<http://www.internationalfamilynursing.org/>) から入手できる。

1. 国際家族看護学会議から国際家族看護学会の創設

1988年5月に, カナダで第1回国際家族看護学会議 (International Family Nursing Conference: INFC) が開催されて以来, アメリカ, チリ, タイ, アイスランドにおいて会議が開催されてきた (ボツワナは直前中止になった)。しかし, これらは学会 (association) ではなく会議 (conference) であり, 立候補地が当番となって独立採算で運営してきた。

漸次に学会設立の機運が高まり, 2005年に第7回国際家族看護学会議がカナダで開催されたとき, 国際家族看護学会の設立計画を議論するための初会合が, 限られた関係者のみで開催された。日本からは, 石垣和子博士, 小林奈美博士, 荒木暁子博士, そして筆者の4名が参画した。

2007年頃から, 国際家族看護学会の設立に向けた話し合いが電子メールなどで活発に行われるようになり, 日本家族看護学会国際交流委員会が日本の窓口となった。2009年にアイスランドで開催された第9回国際家族看護学会議にあわせて, 国際家族看護学会設立の公式会合が開催され, 満場一致で承認された。その後, 学会員の入会受付が始まり, 学会則に則って学会員による役員選挙が実施され, 理事長1名, 次期理事長1名, 理事6名, 庶務幹事1名,

会計幹事1名が選出された。初代理事長はMarcia Van Riper博士 (University of North Carolina) であり, 日本からは筆者が理事に選出された。

2. 国際家族看護学会の活動

国際家族看護学会の使命は, 家族看護の発展に対する責務を共有する唯一の国際的な討論の場を提供することで, 家族のヘルスケア推進に携わる看護職者の個人的そして集団的な育成を図ることである。また, 本学会は, 家族看護の全領域にわたって, 統率をとり, 社交活動を広め, 平等な交流を行う機会を提供することを目指している。

現在, 役員が電話会議や電子メールなどで役員会議を活発に行っており, 学会の組織作りが進んでいるが, 解決すべき課題が山積している。筆者宛の電子メール (naohiro@hohashi.org) で, ご意見やご要望をお寄せいただければ幸いである。

なお, 2011年に日本で開催される予定の第10回国際家族看護学会議は, 従来どおりの方式で運営する。国際家族看護学会が主催する会議 (学術集会) は, 第11回国際家族看護学会議 (2013年に開催予定, 開催地などは未定) からになる。

3. 国際家族看護学会への入会

現在, 本学会員の居住国は8カ国におよんでいるが, 日本の学会員は極めて少ない。入会するためには, Webサイトから入会申込書を手し, 必要事項を記入して学会事務局にファックスを送信する (年会費はクレジットカード決済)。年会費は, 居住国によって異なり, 日本の場合は100米ドルである。日本の家族看護学を世界に発信し, 日本の家族看護学も発展するような国際家族看護学会にするためにも, 日本からの入会が期待される。